

KOBE AWAY PRESS (仮)

For the Vissel Kobe fans of the Kanto living

Free!!

#38 天皇杯準々決勝1st leg 号 2015.11.22 Kick Off

私達にはアウェイ戦のゴール裏をクリームソングで埋め尽くすという夢があります。一人でも多くのヴィッセル神戸サポーターにアウェイ観戦の楽しさを届けたい。KOBE AWAY PRESS (仮)はこうした思いから生まれた情報紙です。KOBE AWAY PRESS (仮)は関東サポーター有志により自主的に制作されています。



絆の力を示す時

1st シーズンを無敗で駆け抜けた浦和レッズ。目の前で1stステージ優勝のトロフィーを掲げられた悔しさは忘れてはならない。2ndステージでは、さすがに足踏みする場面もあったが、年間順位においては広島と勝点1位の座を争っている。今節の結果によって年間勝点1位=チャンピオンシップ決勝へのシード権が決まるという大一番である。一方、ヴィッセル神戸にとって埼玉スタジアム2002はヴィッセル神戸にとって、勝利の記憶とともにあるスタジアムである。あの瞬間、そこにあったのは「絆」の力だった。

若い力の躍動。ベテランの意地。サポーターの後押し。それらは「ゴール」という形になり、勝利という歓喜をもたらすだろう。1stステージでの対戦は、1-1のドロー。決着はついていない。満員の観衆を沈黙させよう。高らかに勝利の凱歌をあげよう、神戸の街に歓喜を届けよう。今こそ力を示す時。

勝利の記憶とともにあるスタジアム

最終節でのアウェイ浦和戦という、どうしてもあの試合が思い出されます。2010年12月4日最終節埼玉スタジアムでの浦和戦。ヴィッセル神戸はJ2降格の危機。まさに崖っぷちの状況にありました。すでに自力残留はなく、残留するためには勝利必須。たとえ勝利してもFC東京の結果次第という状況。けれど、全国から集結した神戸サポーターに悲壮感というようなものはなかったように思います。もちろん残留を諦めた訳ではなく、弛んでいた訳でもなく、心からチームを選手を信じ、神戸のサッカーを精一杯楽しもう、この90分に集中しよう。そういう雰囲気であったように思います。「絆」選手同士の絆。チーム・クラブとサポーターの絆。サポーター同士の絆。その絆の力が、確かにそこにありました。結果、「絆」は「力」となり、4-0というこれ以上ない勝利、そして劇的な残留という「形」となりました。勝利の記憶とともに、思い出される「絆の力」。埼玉スタジアムはヴィッセル神戸にとって特別なスタジアムとなりました

神戸讃歌

俺達のこの街に お前が生まれたあの日
どんなことがあっても 忘れはしない

共に傷つき 共に立ち上がり
これからずっと 歩いてゆこう

美しき港町 俺達は守りたい
命ある限り 神戸を愛したい
オオオオオ オオオオオオ...



KOBE AWAY MARCH

どこまでも行こうぜ 勝利を信じて
熱き友の想い 胸に宿して
行こう 勝利へ
トモニ戦え ラーララ ララララ!
歌声響かせる(KOBE!) 遠く神戸まで(KOBE!)
さあみんなで帰ろう 神戸に帰ろう
勝利この手に!

ONE LOVE (20周年記念チャント)

ウォーオ! 胸に刻まれた
ウォーオ! 白黒の灯(あかし)
ウォーオ! 熱く震わせる
ウォーオ! 深紅の情熱
神戸あるかぎり

サア行こうぜ 戦いの海原へ
俺たちの船を出せ ウォーオー
勝利をこの手に 世界に輝け
愛する神戸タダヒトツ!

2015年度日程

節		日時	会場	勝敗・得点	節	対戦相手	日時	会場	勝敗・得点
1st 17	横浜Fマリノス	6月27日(土) 16:00	H ノエスタ	△ 1-1	2nd 10	FC東京	9月12日(土) 19:00	A 味スタ	● 0-3
1st 1	清水エスパルス	7月11日(土) 19:00	A アイスタ	○ 5-0	2nd 11	アルビレックス新潟	9月19日(土) 19:00	H 神戸ユ	● 1-2
1st 2	湘南ベルマーレ	7月15日(水) 16:00	H ノエスタ	△ 1-1	2nd 12	名古屋グランパス	9月26日(日) 19:30	A パロ稲穂	● 0-2
2st 3	ベガルタ仙台	7月19日(日) 16:00	A ユアスタ	○ 2-1	2nd 13	鹿島アントラーズ	10月3日(土) 15:00	H ノエスタ	● 0-2
2nd 4	ガンバ大阪	7月25日(土) 19:00	H ノエスタ	● 1-2	N 2nd 14	鹿島アントラーズ	10月7日(水) 19:00	H 神戸ユ	● 1-2
2nd 5	サンフレッチェ広島	7月29日(水) 19:00	H ノエスタ	● 0-4	N 2nd 15	鹿島アントラーズ	10月10日(日) 14:00	A カシマ	● 1-4
2nd 6	柏レイソル	8月12日(水) 19:00	A 柏	● 0-2	2nd 16	ジェフユナイテッド千葉	10月14日(水) 19:00	H 神戸ユ	○ 1-0
2nd 7	川崎フロンターレ	8月16日(日) 19:00	H ノエスタ	○ 2-0	2nd 17	横浜Fマリノス	10月17日(土) 14:00	A 日産ス	● 1-2
2nd 8	ヴァンフォーレ甲府	8月22日(土) 18:00	A 中銀スタ	● 0-1	2nd 18	モンテディオ山形	10月24日(土) 14:00	H ノエスタ	○ 3-1
2nd 9	サガン鳥栖	8月29日(土) 19:00	H 神戸ユ	○ 7-1	2nd 19	松本山雅FC	11月7日(土) 14:00	H ノエスタ	○ 2-1
2nd 10	柏レイソル	9月2日(水) 19:30	A 柏	○ 2-0	2nd 20	横浜Fマリノス	11月14日(土) 15:30	H ノエスタ	○ 1-0
2nd 11	柏レイソル	9月6日(日) 20:00	H 神戸ユ	● 2-3	2nd 21	浦和レッズ	11月22日(日) 13:30	A 埼玉	○ -
2nd 12	AC長野パルセイロ	9月9日(水) 19:00	H 神戸ユ	○ 5-0	2nd 22	浦和レッズ	12月26日(土) 未定	未定	○ -

※印刷工程にかかる日数の関係で勝敗・得点の記載をしていない日程があります。あなたの手で日程表を完成させてください!

20年目のシーズンを振り返って

2015シーズン、ヴィッセルの目標は「タイトル」だった。リーグで最も実績のある監督のひとり、ネルシーニョを迎え、クラブ創設20周年目の歩みは確かなものかと思えた。1stシーズンはホームでの成績は芳しくなかったが、アウェイではほとんど負けず、特に長年勝てなかった広島、山形で初勝利。苦手の地である新潟、鳥栖でもドローに持ち込み勝ち点1を得た。序盤はチームの進歩を感じさせたが、夏場に入るとノエスタの芝の悪化とともに、ホームではまったく勝てなくなり、アウェイにおいても、柏、甲府、FC東京、名古屋と連敗を喫する。気が付けば年間順位では降格圏周辺の15位に沈んでいた。ホームのラスト2戦の勝利で何とか降格は免れたものの、リーグ戦においてはタイトル争いすることさえできなかった。

結果、さえない今シーズンであったが、わずかながら三つの光明が見えた。一つはナビスコカップでの準決勝進出。決勝戦を目指した鹿島との対戦では、力の差を見せつけられ敗退したが、タイトルを間近にした時の鹿島の勝利への執念はリーグ戦とは比べ物にならないほど激しかった。優勝チームである鹿島と準決勝の場で真剣勝負ができたことは今年得た経験の一つだろう。もう一つは、若手が実戦経験を積んだこと。詳細は別稿に譲るが、特に増山、前田の三人は今後に大きな期待を抱かせる活躍をした。21年目のシーズンは、知将ネルシーニョのもと、心機一転してリーグ戦で上位を争う安定した戦いを期待したい。そしてその片鱗を20年目の最終戦で見せてもらいたい。

今年期待の若手 総括

2015シーズン、KOBE AWAY PRESS(仮)では若手選手にスポットを当ててコラムを連載してきました。1年を振り返り、若手選手の現状と来年への期待を総括します。

まず飛躍の1年となったのが増山と前田のMF2人。増山はルーキーイヤーでありながらシーズン後半には常にベンチ入りし、スーパーサブとして活躍。スタメン 出場したナビスコ準決勝2ndレグ鹿島戦では決勝進出の望みを繋ぐ同点ゴールをアシストするなど印象に残るプレーが光った。前田はチョン ウヨンが欠場したナビスコ杯で存在感を発揮。リーグ戦でも出場機会を増やすなど、来シーズンのレギュラー争いに加わるプレーを披露した。今後の活躍次第ではリオ五輪出場も狙えるかもしれない。また、出場時間は短かったがDF山口もデビューを果たし、ナビスコ杯でアシストを記録するなど貴重な経験を積んだ。彼らには今後、90分安定したプレーができるフィジカルを身に付けてもらいたい。一方でFW田代はデビューを果

たしたものの、その後は出場機会に恵まれず、もどかしいシーズンとなった。3年目の来季は勝負の年となるだろう。まずは得点やアシストなど目に見える結果が欲しいところだ。吉丸と松澤のGK2人は我慢の1年となった。やはり山本、徳重の壁は高く、山本の離脱後に吉丸がベンチ入りするのがやっとだった。GKは出場機会を掴みにくいポジションなので、今後の成長を考えるとJ2やJ3での武者修行も必要なのかもしれない。最後に既にレギュラークラスの岩波、小川、森岡にはもう一皮剥けて絶対的中心選手になってもらいたい。森岡にはシュート意識を向上、小川は怪我を完治させて、共に得点量産を期待したい。岩波はまずU-22でリオ五輪予選を突破しよう。

不定期連載で全ての若手選手を書くことはできませんでしたが、1年間ご愛読いただきましてありがとうございました。2016シーズン、彼らの更なる飛躍を期待しましょう。

Facebook&ホームページも情報満載!
Facebook
<http://www.facebook.com/kobeap>
Blog <http://kobeap.net/>



KOBE AWAY PRESS(仮)と同じ内容をWEB上にもアップしています。今まで見逃したバックナンバー等チェックしてください。またFacebookでは試合後のアウェイ情報なども配信しています。誌面に載り切らなかった情報等はこちらでチェックしてみてください。

✓ トップチーム

21 GK 松澤 香輝	22 GK 山本 海人	28 GK 吉丸 絢梓	30 GK 徳重 健太	3 DF 相馬 崇人
4 DF 北本 久仁衛	5 DF 岩波 拓也	6 DF 高橋 峻希	8 DF 高橋 祥平	14 DF 増川 隆洋
25 DF 奥井 諒	26 DF 山口 真司	31 MF 安田 理大	34 DF ブエノ	35 DF 藤谷 壮
10 MF 森岡 亮太	16 MF チョンウヨン	17 MF 田中 英雄	20 MF 増山 朝陽	23 MF 松下 佳貴
24 MF 三原 雅俊	32 MF 前田 凌佑	7 MF ベロロジュニオール	9 FW 石津 大介	11 FW レアンドロ
13 FW 小川 慶治朗	18 FW マルキーニョス	19 FW 渡邊 千真	29 FW 田代 容輔	

VISSEL KOBE

✓ KOBE AWAY PRESS (仮) からのご協力をお願い

KOBE AWAY PRESS(仮)を他のお友達にすすめたいという方や自分のお店において配ってもいいよという方は大歓迎です。一人でも多くのサポーターを誘ってアウェイゴール裏に駆けつけましょう!

KOBE AWAY PRESS(仮)のPDF版ダウンロード、およびKOBE AWAY PRESS(仮)に関するお問い合わせは、以下のURLにアクセスしてください。

KOBE AWAY PRESS (仮) PDF版ダウンロード
<http://kobeap.net/> 発行: KOBE AWAY PRESS(仮) 編集部
 Facebook <http://www.facebook.com/kobeap>
 Twitter @kobeap (<https://twitter.com/kobeap>)



編集後記



神戸は、11/14の天皇杯ラウンド16、横浜FMに勝利。天皇杯準々決勝の相手は、J3町田に大勝した浦和。今日の試合は、事実上の「天皇杯準々決勝1st leg」であり、今日の勝利は、「天皇杯準々決勝2nd leg」の勝利、すなわち、天皇杯準決勝進出に向け、チームに勢いと自信をもたらす大きな意味を持つ。ピッチで戦う選手を後押しするのは、われらファン・サポーター。トモニイコウ!(べ)

このKOBE AWAY PRESS(仮)を受け取ったら、その場で捨てないでお家まで持ち帰ってね!

Keep clean